

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様の健やかな成長、晴れの門出心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

さて皆さん今のお気持ちは如何でしょうか。皆さん方はこの学校に入るにあたり、何かしらの思いや希望、目標といったものを持って入学されてこられ、様々な学びや体験をされて多くの事を身に付け社会にはばたく時を迎えました。社会に出るにあたって、今一度自分の思いや願いを見つめ直しながら、新たな生活を始めていってくれることを期待しています。

「光陰矢のごとし」という言葉があります。光陰というのは光と影、言い換えると光は日、影は月、つまり月日、時間のことです。矢のごとしとは文字通り弓矢が飛ぶように早いという事です。「光陰」月日、時間は矢のように早く過ぎるという意味です。時間はあっという間に過ぎるといのが「光陰矢のごとし」の意味です。皆さんも今振り替えれば高校生活はあっという間だったと思いませんか。それが、これからはそのスピードがもっと速くなって行くようになります。不思議な事に年を取れば取る程時間が過ぎるのが早く感じるようになっていきます。時間というものは、世界のどこでも、誰でも同じ速さで進む筈なのですが、なぜか年を取ると共に早くなっていきます。お父さんお母さんに聞いてみて下さい。そう言う筈です。お爺ちゃんお婆ちゃんは尚のことです。

閑話休題話は元に戻して、例え世の中の状況がどうであろうと、自分が何をしようと時間だけは過ぎていきます。皆さんの目の前には、人生の時間はたっぷりとあろうかと思えます。しかし「まだ大丈夫」「もう少ししたら」などと言っていると、時間だけがあっという間に過ぎて何も残らなかった、何もできなかった、残ったのは悔いだけということになってしまいます。そうならないためには、今出来る事やるべき事を積み重ねていく事が何よりです。皆さんは、ちょっとした努力や小さな事でも続けること、積み重ねることによっていつしか大きな力になるという事を知っている筈です。時間を大切にしながら、時間を上手に使いながら、今出来る事やるべき事を積み重ねて自分の思いや願いに近づいて行ってくれることを願ってやみません。

本日卒業される全ての皆さんが大いに輝き活躍し、活躍されんことを心から期待してハナムケの言葉と致します。今日はおめでとう。

(R6.3.9 緑誠蘭高校体育館)